

2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 M e C 西 東 京

代表者・役職名 氏名 末 光 正 忠

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

西東京にホテルを再び！ 石神井川を清流に！ 和の心で川そうじ！

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

退職後の中高年が集まり、昔ホテルの名所であった石神井川の清掃活動を18年間続けている。ホテルの復活を目指し、多くの参加者を募るために、水問題や国際交流をテーマにした講演会を開催した。川掃除だけでは、人が集まりにくいと、同じように苦労している伝統文化の和の箏曲演奏会も特別に開催した。そこで、多くの人々に和の心を育む箏と尺八の演奏をとおして、清流復活と水の大切さ、美しさを訴える活動を私たちの生きがいとしている

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

継続してきた川掃除が、徐々に知られるようになり、地元のボーイスカウトや高校生の協力を得られるようになってきた。しかし、コロナ禍で川掃除は一時中断しているが、影響がなくなれば、また再び川掃除、ホテルの復活ができるように個人宅で飼育を始めている。福生市でホテルを飼育している団体との交流が生まれて協力体制がとれるようになってきた。清掃活動ができないので、活動の場を探していたら、箏曲の演奏家との交流が生まれ新年箏コンサート企画し1月に開催した。緊張感あふれる箏と尺八の熱演に聴衆の皆さんは、感動した。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2年続いている新型コロナウイルス蔓延により清掃活動が制約された。都市の下水道から変異ウイルスが検出されたとの報道もあり、年度当初から、川掃除を見合わせ観察することとした。地元の高校生がSDGsの運動で川掃除に参加した。10月にクラブ活動で約30名の生徒が参加して川掃除を一緒におこなった。翌年1月に伝統文化の継承を応援するために箏曲の演奏会を開催し、86名の皆さんに、活動の協力をお願いすることができた。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT.実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME.事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT.事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

継続してきた川掃除が、徐々に知られるようになり、地元のボーイスカウトや高校生の協力を得られるようになってきた。しかし、コロナ禍で川掃除は一時中断しているが、影響がなくなれば、また再び川掃除、ホテルの復活ができるように個人宅で飼育を始めている。福生市でホテルを飼育している団体との交流が生まれて協力体制がとれるようになってきた。清掃活動ができないので、伝統音楽の箏曲の演奏に協力し、和の文化を訴えた。新年箏コンサート企画し、1月に開催した。好評で来客にとっても喜ばれた。伝統文化継承の理解が深まった。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

石神井川の一番の問題は、冬季を迎えると極端に水の流れが少なくなり、水が全く無くなる状態がある。この原因は、住宅が多く立ち並び、緑地や畑が減少し、雨水が、地下に浸透する量が減っていることにある。近隣の玉川上水も下水道の再生水と多摩川の水とで清流復活をした。石神井川は、宅地や道路に降った雨を下水道で石神井川に放流されている。自治体では、住宅に雨水浸透桝の設置を促進し、雨水の涵養に努めている。川掃除とともに講演会や音楽会も開催し、和の文化や河川と水の大切さの理解を深める活動を続けていく。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。









東京都